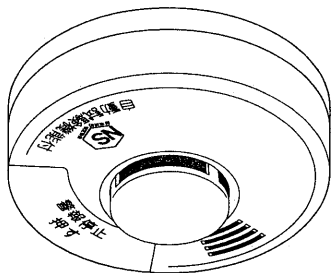
TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝住宅用火災警報器 取扱説明書 保証書付

対象機種	TKRK-10（移報接点なし） TKRK-10(CW)（移報接点なし、ウォームベージュ色） TKRK-10S（移報接点付）

住宅用火災警報器 ＜音声タイプ＞

煙式 電池10年タイプ

音声警報機能付

このたびは東芝住宅用火災警報器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの住宅用火災警報器を正しくご使用していただくために、ご使用の前に「取扱説明書」および「製品の表示」をよくお読みください。なお、お読みになったあとは必ず保管してください。

販売店（工事店）様へ…工事が終了しましたら、保証書内に必要事項をご記入の上、必ずお客様へお渡しください

東芝住宅用火災警報器保証書

形名	TKRK-10/TKRK-10(CW)/TKRK-10S		
★お客様	お名前	ふりがな　　　様	
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	電話	市外　　市内　　番号　　呼	
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日　　年　　月　　日から
★ご販売店	住所・店名 電話		

東芝ライテック株式会社

〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した時には、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

東芝ライテック株式会社　照明器具事業部

〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1　TEL.046-862-2103

001U182B

1.商品の概要

- この商品は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品ですが、消防法令に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- この商品は初期火災の煙を感知して警報音で知らせる住宅用火災警報器です。消火装置や火災防止機器ではありません。火災などによる損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
  また次のような火災は感知できないことがあります。
  - ・火のまわりの早い火災
  - ・爆発的な火災
  - ・ガス漏れ、薬品火災、電気火災など
  - ・煙の発生しない火災
- お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめいたします。

2.安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために必ずお守りいただくことを次のように表示、説明しています。

⚠警告	⚠注意
取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負う可能性がある場合、または機器に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽傷を負うか物的損害が生じる可能性がある場合、または機器に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

⚠警告

- **屋外では使用しない。屋内専用です。**漏電や火災の原因になります。
- **殺虫スプレーや化粧品スプレーなどを直接警報器にかけない。**
  誤報や故障の原因になります。
- **警報器のすき間に針金などを差し込まない。**感電するおそれがあります。
- **警報器は分解、改造を絶対にしない。**
  機器に重大な悪影響を及ぼすおそれがあります。
- **取付ネジの取り扱いは乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。**
  誤飲やケガのおそれがあります。

⚠注意

- **音響孔に耳を近づけて警報音を聞かない。**
  聴力障害などの原因になるおそれがあります。
- **警報器を落下させたり、衝撃を加えない。**故障の原因になります。
- 多量のガスが発生する殺虫剤などを使用する場合は、警報器を取り外してください。火災ではないのに火災警報音が鳴る原因になります。警報器は左へ回すと取り外すことができます。
- 使用しない取付ネジは、放置せず適切に処分してください。
  ケガをするおそれがあります。

専用リチウム電池について

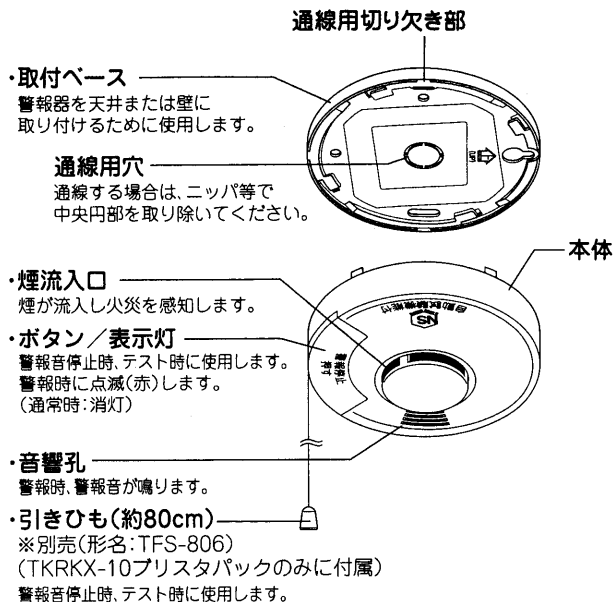
⚠警告

- **必ず専用電池を使用する。**
  故障の原因や発火、漏液、発熱、破損のおそれがあります。
- **電池を火中や水中に投入したり、加熱、分解、改造、充電、はんだ付けなどをしない。**
  発火、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- **電池の交換は乳幼児の手の届かない場所で行う。**
  誤飲のおそれがあります。
- 本製品に使用のリチウム電池は、航空輸送及び海上輸送の規制の対象品(国内、海外ともに)ですのでご注意ください。

ご注意

- 電池からの漏液が目に入ったり皮膚に付いた時には、ただちに水洗いし、医師に相談してください。
- 電池のフィルムは、はがさないでください。フィルムは電池を保護するためのものです。

＜生産完了 2011年12月17日＞

3.各部の名称とはたらき

付属品

- ●**取扱説明書(本書)**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ●**専用リチウム電池**(フィルムをはがさないでください)・・1個
  ※警報器に組み込んであります。
  使用時は警報器との接続が必要です。
- ●**取付ネジ**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2本

TKRKX-10ブリスタパックのみに付属

- ●**石こうボード取付プラグ**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2本
- ●**引きひも**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1本

4.取付場所について

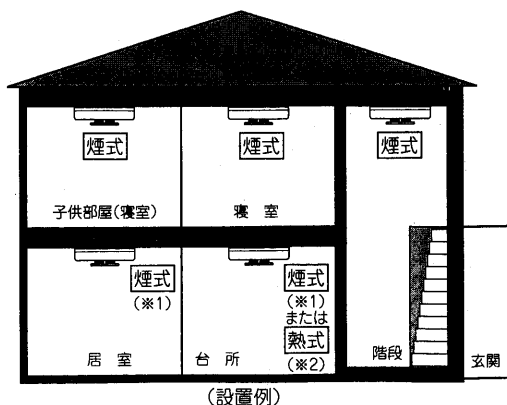
⚠警　告

●**雨水のかかる場所、浴室や脱衣所などの高湿度環境または水蒸気や結露の発生する場所には取り付けない。**感電するおそれがあります。

⚠注　意

●**天井や壁の補強材が通っている場所を確認の上、取り付ける。**
落下のおそれがあります。

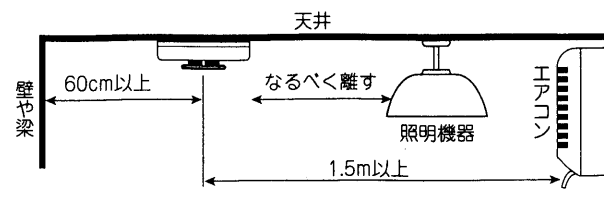
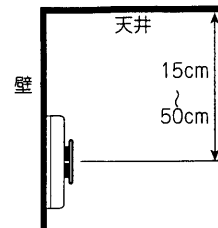
●消防法令では、「全ての寝室」と「階段」に設置することが義務付けられています。その他の部屋については、各市町村の条例に基づいて取り付けてください。

(設置例)

(※1)台所や居室等は、市町村条例により設置が義務づけられる場合があります。
(※2)熱式は調理の煙や湯気による誤報の発生が心配される台所のみに設置してください。

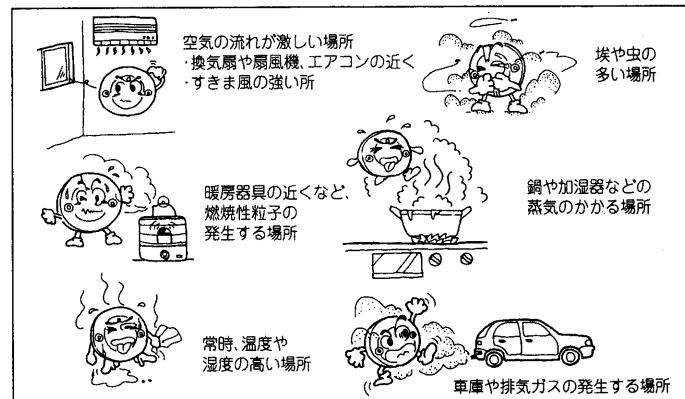
●2階建ての場合は、2階の階段の降り口の天井または天井に近い壁に取り付けると、より効果的です。

■**警報器のボタンが操作しやすい位置に取り付けてください。**

居室の場合は各部屋の中心に取り付けると、より効果的です。
取り付けの際は、下記の事項に注意してください。煙の感知が遅れる原因になります。

●天井面は壁や梁から60cm以上離す。
●換気扇やエアコンなどの吹き出し口から1.5m以上離す。

●壁面は天井面下15cmから50cmまでの範囲。

ご注意

煙の感知が遅れる原因
●換気扇やエアコンなどの吹き出し口に近いと煙が拡散される。
●照明機器に近いと、照明機器の形状により煙の流れを妨げる。

5.次のような場所には取付けないでください

6.取付方法

⚠警　告

●**電池の接続や警報器の取り付けは正しく行う。**
正常に作動しないおそれがあります。
●**安定した台に乗って行う。**転倒してケガをするおそれがあります。

⚠注　意

●日頃人の居ない部屋に取り付ける場合は警報音が聞こえるかを確認の上、取り付けましょう。また、次のような場合は警報音が聞こえないことがあります。
・就寝中、薬を服用していた場合
・飲酒して就寝した場合
・ドアを閉めている時の警報時
・交通、ステレオ、ラジオ、テレビ、エアコンなどの騒音が大きい場合
●警報器の取り付け、取り外しの際は警報器の外周を持ってください。煙流入口付近を持つと、破損するおそれがあります。
●取り付け時に発生する埃などが煙流入口から警報器内部に入らないように十分に注意してください。誤作動の原因になります。

<生産完了 2011年12月17日>

■取り付ける前に①

⚠警 告

●電池の接続、警報器の取付がしっかりとされていない場合、火災時に正常に作動できないおそれがあります。
●電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしないでください。絶縁物やガス排出弁などを損傷し、液漏れ・発熱・破裂するおそれがあります。

①警報器と取付ベースを外します。
警報器を左に回して取り外してください。

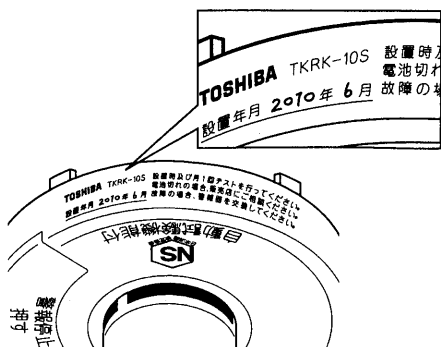
②電池を接続します。
●警報器側コネクタに電池側コネクタを奥までしっかり差し込んでください。
(電池のフィルムをはがさないでください。)
電池を接続すると表示灯が光り、「ピー　監視を始めます」と鳴ります。

専用電池
電池側コネクタ
警報器側コネクタ
赤い線　黒い線
赤　黒
赤い線　黒い線
※「カチッ」と音がするまで奥に差し込む

■取り付ける前に②

●電池の長い線は下図のように溝に差し込んでください。
取付ベースに取り付ける際、線が取付ネジに引っ掛かるおそれがありますので、必ず行なってください。

③作動テストをします。
●電池を接続して5秒以上経過後にテストしてください。
取扱説明書の「9.点検のしかた」をご参照ください。

④設置年月を記入します。
●警報器側面の記入欄に油性のマジックペン等消えにくいペンで設置年月を記入してください。交換時期の目安となります。

■取り付け方法①[天井取付]

⚠警 告

●取付の際は、天井材に適したネジを用いて適切な力で取り付けてください。
引きひもを引いた時などに機器が落下する危険があります。

●警報器の取り付けは、安定した台に乗って作業を行ってください。
転倒・落下などの危険があります。

①天井面の補強材が通っている場所を確認の上、取付ネジで取付ベースをしっかりと固定してください。

ベース

②警報器が止まるまで右に回してください。

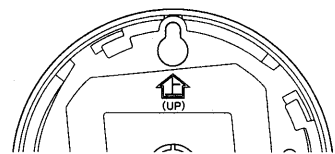
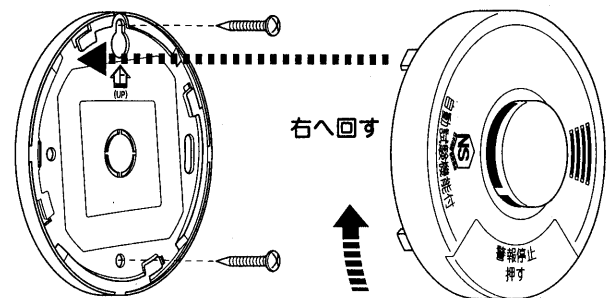
右へ回す
本体

③警報器取り付け後、テストをしてください。
詳細は取扱説明書の「9.点検のしかた」をご参照ください。

■取り付け方法②[壁取付]

⚠警 告

●取付の際は、壁材に適したネジを用いて適切な力で取り付けてください。
引きひもを引いた時などに機器が落下する危険があります。

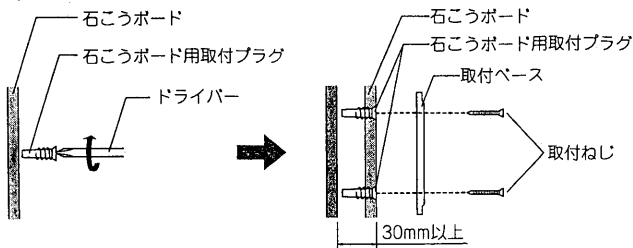
①壁面の柱、または補強材が通っている場所を確認の上、向きを間違えないように取付ネジで取付ベースをしっかりと固定してください。

②下図のように、警報器が止まるまで右に回してください。

③警報器取り付け後、テストをしてください。
詳細は取扱説明書の「9.点検のしかた」をご参照ください。

■石こうボードに取り付ける場合

［TKRKX-10のみに付属の石こうボード用取付プラグを使用する場合］

⚠注 意

●天井面に取り付ける場合は、石こうボードのくずが目に入るおそれがありますので、注意してください。

①石こうボードに石こうボード用取付プラグ(TKRKX-10のみに付属)をねじ込んでください。
②取付ねじ(TKRKX-10のみに付属)を使ってベースを取付けてください。

ご注意
●石こうボードの強度を十分に確認して取り付けてください。強度が足りない場合は補強を行なってください。

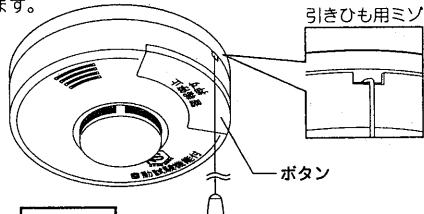
ご注意
●石こうボードと内部空間の深さは30mm以上必要です。

7.引きひもについて

別売引きひも　形名:TFS-806 (TKRKX-10プリスタパックのみに付属)

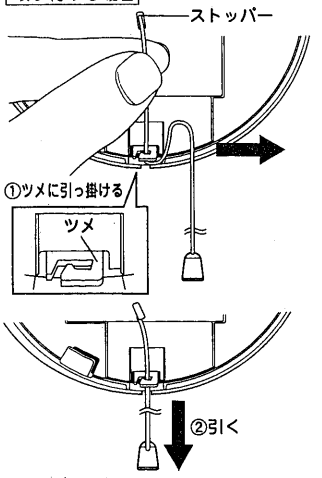
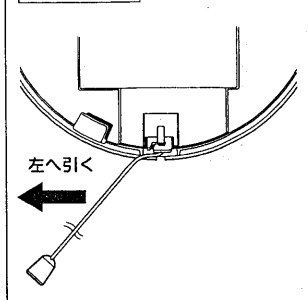
⚠警 告

●引きひもを強く引いたり、ぶらさがらないでください。警報器のフック部が破損して、引きひもがはずれたり、警報器が落下、破損して、ケガをするおそれがあります。

天井や壁に取り付けた時にボタンが押せない場合は、引きひもをご使用ください。引きひもはゆっくり1回引いてください。警報音停止やテストを行うことができます。

[引きひもを取り付ける場所はボタンの裏側にあります。]

ご注意
●引きひもを急に強く引くと警報音の停止及びテストができない場合があります。その場合は、一旦、引くことを止めて、再度ゆっくり引いてください。

◎引きひもは取り外し・取り付けが可能です。

取り付ける場合

取り外す場合

ご注意
●引きひもの取り付けは上図をご参照の上、ストッパーがツメの奥になるように取り付けてください。正常に取付けないと操作できないおそれがあります。

8.移報について　TKRK-10Sのみ

移報端子に、フラッシュ付増設ブザー：TFS-803やテレビドアホン(移報入力端子のある機種)を接続することにより、警報器が火災を感知すると連動して動作させることができます。(接点定格：無極性無電圧ａ接点DC30V、0.2A未満)

ご注意
●接続機器への配線方法や、仕様(配線・接続可能台数等)については、接続する機器の取扱説明書等を参照してください。

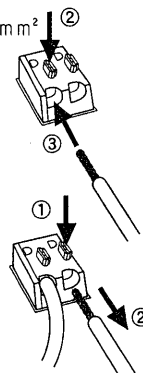
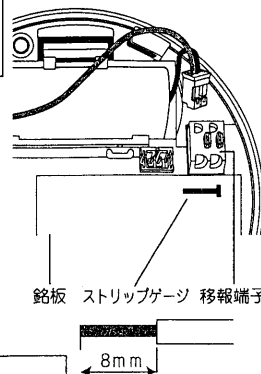
●配線作業は電池のコネクタを外して行ってください。

■配線方法
●引き出し配線の場合
①取付ベースの中央部の位置に合わせて通線穴をあけます。
②通線用穴より配線を引き出します。
③移報端子に接続します。
●露出配線の場合
①取付ベースの配線用切り欠き部より配線します。
②移報端子に接続します。

ご注意
●配線は電池をさけるように引きまわしてください。

■接続方法
適合電線　単線：φ0.65～φ0.9　より線：0.3mm²～0.75mm²
①銘板上のストリップゲージに合わせて電線被覆を8mmむいてください。
②端子の取り外しボタンを押してください。
③電線を奥までしっかり差し込んでください。

ご注意
●移報端子への入線は、1端子あたり1本にしてください。
●曲がった心線は使用しないでください。また、より線は整えた状態で差し込んでください。誤動作の原因となります。
●専用リチウム電池の取り替えやお手入れ時は、本体を取りはずす必要があります。取りはずしが容易に行えるように配線にゆとりをもたせてください。(約15cm程度)

■取り外し方法
①端子の取り外しボタンを押してください。
②電線を引き抜いてください。

9.点検のしかた

⚠警 告

●テストの時、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器を壊すばかりでなく、火災の原因になります。
●テストをする時は、安定した台に乗って行なってください。転倒・落下などの危険があります。

●取り付け後は定期的に(1ヶ月に1回)ボタンを押す、または引きひもを引いて警報器が正常に作動するかテストしてください。
●煙流入口にほこりがついている場合は、ほこりを取ってください。ほこりがついていると正常に動作しない場合があります。

■テストの方法
◎機器の状態を確認する場合。
1秒程度ボタンを押す、または引きひもを引いてください。
●正常なとき：「ピー　正常です。」のメッセージ、表示灯も点灯
●異常なとき：「ピー」音の後、電池切れ警報となります。
［13.電池切れ警報について］　または　［14.故障かな？と思ったら］をご参照の上、適切な処置をしてください。
◎機器が正常に動作するかを確認する場合。
ボタンを押し続ける、または引きひもを引き続ける。
●正常なとき：「ピュー　ピュー　ピュー　火事です。火事です。」の警報音、表示灯も点滅（ボタンを押し続けている、または引きひもを引き続けている間だけ動作が続きます）
●異常なとき：上記の正常動作をしません。各異常のメッセージにより、［14.故障かな？と思ったら］をご参照の上、適切な処置をしてください。
※3日以上留守にされた時は、警報器が正常に作動するかテストしてください。

ご注意
●電池コネクタ接続直後の煙流入による動作点検は、行わないでください。故障警報となる場合があります。
●煙流入による動作点検は、電池コネクタ接続後、約30秒以降から行なってください。

ご注意
●引きひもを急に強く引きすぎると、テスト動作できない場合があります。その場合は、一旦、引くことを止めて、再度ゆっくり引いてください。

＜生産完了 2011年12月17日＞

10.火災警報の動作

■火災警報動作

●煙を感知すると、火災警報音が鳴り表示灯(赤)が点滅し、火災をお知らせします。

火災警報音	「ピュー　ピュー　ピュー　火事です。火事です。」 (女性の声で繰り返します)

●火災の状況に応じて、火元を確認し、落ち着いて避難してください。
●119番へ通報するなど適切な処置をしてください。

■復旧動作(自己復旧方式)

●警報器内の煙がなくなるまで火災警報を繰り返しますが、煙がなくなると自動的に火災警報を停止し、監視状態に戻ります。

11.火災警報音の停止方法

⚠注 意

●火災警報の際は、電池を外さないでください。ボタンを押す、または引きひもを引くと、火災警報は止まります。

●火災警報中に1秒程度ボタンを押す、または引きひもを引きます。「ピッ、ピッ、火災警報を停止中です。」と警報音が鳴り、約5分間火災警報音および表示灯を停止させることができます。

ご注意

●ボタンを押して、約5分間は火災警報が動作しないのでご注意ください。
警報器内部に煙が残っている場合は、約5分後に再び火災警報音が鳴ります。

●火災警報停止中にボタンを押す、または引きひもを引くと、「ピッ、ピッ、火災警報を停止中です。」と鳴り同時に表示灯が点滅して、火災警報停止中であることをお知らせします。

ご注意

●引きひもを急に強く引きすぎると警報停止できない場合があります。
その場合は、一旦、引くことを止めて、再度ゆっくり引いてください。

12.故障警報（自動試験機能）について

⚠警 告

●機器が発する故障警報は、機器が正常に火災の感知が出来ない状態にあることを意味します。
●警報停止をする機能は有りますが、故障警報中(停止中含む)に火災が発生した場合、火災を感知できず危険な状態が生じる事が想定されます。
速やかに機器を交換してください

警報器に異常が発生し、煙を正常に感知できなくなった場合、故障警報音が鳴り、同時に表示灯が点滅することで、自動的に故障をお知らせする機能です。

■煙を正常に感知できなくなると

約30分～1時間ごとに「ピッピッピッ、故障です。」と3回繰り返してお知らせします。
また、「ピッピッピッ」音が約25～50秒間隔で、「表示灯」の点滅が約4～8秒間隔で継続します。

●故障状態では、火災を感知できません。

●故障警報中に1秒程度ボタンを押すまたは引きひもを引くと、「ピッ、ピッ、ピッ、故障です。」と鳴ってその後約10～18時間、故障警報を停止させることができます。(故障警報を停止している間も火災を感知できません。)すみやかに警報器を交換できない場合に使用できます。

●故障警報停止中にボタンを押す、または引きひもを引くと、「ピッ、ピッ、ピッ、故障です。」と鳴り、同時に表示灯が点滅して、故障警報停止中であることをお知らせします。

ご注意

●故障探知(自動試験)は電池接続時に行い、その後は10日後から行います。

13.電池切れ警報について

電池電圧が低下した場合、電池切れ警報音が鳴り同時に表示灯が点滅することで、自動的に電池切れをお知らせする機能です。

■電池切れを検出すると

約30分～1時間ごとに「ピッ、電池切れです。」と3回繰り返してお知らせします。
また、「ピッ」音と「表示灯」の点滅が約55～105秒間隔で継続します。

■電池切れ警報の停止方法

電池切れ警報中に1秒程度ボタンを押す、または引きひもを引くと、「ピッ、電池切れです。」と鳴ってその後約10～18時間、電池切れ警報を停止させることができます。

電池切れ警報停止中にボタンを押す、または引きひもを引くと、「ピッ、電池切れです。」と鳴り、同時に表示灯が点滅して電池切れ警報停止中であることをお知らせします。

●電池切れ警報を停止させている場合も監視状態です。
●電池寿命は約10年を想定していますが、お客様のご使用環境により、電池寿命が短くなる場合があります。
●電池切れ警報が鳴った際は、すみやかにお買い上げの販売店にご相談いただき、新しい警報器もしくは専用電池と交換してください。
●警報器本体の交換目安はご購入後約10年です。
電池切れ警報が鳴った際は、機器に記入された「設置日」をご確認いただき、お買い上げの販売店にご相談ください。約10年経過している場合は新しい警報器への交換を推奨いたします。
電池を交換する場合は専用リチウム電池をご使用ください。
※専用リチウム電池（サービス部品コード：18173009）
（東芝テクノネットワーク(株)扱い）

14.故障かな？と思ったら

警報器の症状とその原因、対処について下表に示します。
下記の対処を行っても直らない場合は、お求めの販売店までご連絡ください。

症　状	原　因	対　処
設置前に電池を接続しても「ピー、監視を始めます。」と鳴らない。	電池が正しく接続されていません。	電池のコネクタが正しく接続されているか確認してください。
	警報器の故障です。	お買い上げの販売店、または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。
	短時間に電池のコネクタの抜き差しを行なうと鳴らない事があります。	ボタンを押して、「ピー　正常です」のメッセージが鳴れば正常です。鳴らない場合は、電池のコネクタを取りはずして約30秒後に再度接続してください。
テストの際、ボタンを押しても警報音が鳴らない。（または引きひもを引いても同様）	電池が正しく接続されていません。	電池のコネクタが正しく接続されているか確認してください。
引きひもを引いてもテストできない。	引きひもを急に強く引きすぎたためです。	一旦、引くことを止めて、再度ゆっくり引いてください。
引きひもを引いても警報音を停止できない。		
火災ではないのに火災警報音が鳴り、同時に表示灯が点滅している。	火災以外の煙など(埃、殺虫剤、スプレー類、調理による煙、湯気)を警報器が感知しています。	警報器内の煙などがなくなるまでお待ちください。また、火災以外の煙で火災警報が多発する場合は取付場所を変えてください。
「ピッ、電池切れです」と警報音が鳴り、同時に表示灯が点滅している。	電池の電圧が低下しています。	新しい専用リチウム電池に交換してください。購入日から約10年経過していた場合新しい警報器との交換を推奨します。
「ピッピッピッ故障です」と警報音が鳴り、同時に表示灯が点滅している。	警報器の故障です。	新しい警報器に交換してください。
	電池のコネクタ接続直後に煙を流入させると故障警報となる場合があります。	電池コネクタを取りはずして、煙が残っていないことを確認して、電池コネクタを接続してください。 (煙による動作点検は電池コネクタ接続後、約30秒以降から行なってください。)

<生産完了 2011年12月17日>

15.お手入れ方法

●毎年1度は、中性洗剤に浸した布を十分に絞り、警報器の汚れを拭き取ってください。この際、煙流入口に触れない様、注意してください。
●お手入れ後は、警報器が正常に動作するかテストしてください。

⚠注 意

●警報器を水洗いしないでください。
また、ベンジンやシンナーを使用しないでください。故障の原因になります。

⚠警 告

●お手入れする場合は、安定した台に乗って行なってください。転倒・落下などの危険があります。

16.廃棄について

●この警報器およびリチウム電池の廃棄については、各市町村で定められた廃棄方法に従ってください。
●電池を廃棄するときは、電池を束ねているフィルムをはがさないでください。フィルムが破れていたりキズ等がある時は、フィルムの上から＋極側と－極側を絶縁性テープで絶縁してください。さらに、電池のコネクタを絶縁性テープで電極が見えないように巻き、各市町村で定められた廃棄方法に従って「使用済みリチウム電池」として廃棄してください。

17.アフターサービスについて

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は
お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター
0120-66-1048　受付時間：365日　9:00~20:00
携帯電話・PHSなど 046-862-2772（通話料：有料）
FAX　0570-000-661（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

18.仕　　様

機器形名	TKRK-10(白色) TKRK-10(CW) (ウォームベージュ色)	TKRK-10S(白色)
種別	光電式住宅用防災警報器	
鑑定型式番号	鑑住第21~42号	
感知方式	煙式(光電式)	
感度	2種	
電源	専用リチウム電池(DC3V):付属	
専用リチウム電池 ※3	CR17450WK41-1　日立マクセル CR17450E-N-CN8-TBL　三洋電機	
機器交換の目安	約10年(電池寿命も約10年) ※1	
火災警報	「ピューピューピュー、火事です。火事です。」	
火災警報音量	1mにて70dB以上(鑑定基準)	
外形寸法	φ90mm×25mm(取付ベース含む)	
質量	約95g(電池約24g含む)	
移報接点	――――――	無極性無電圧a接点 DC30V 0.2A未満
使用温度範囲	0℃~40℃	
復旧	自己復旧方式 ※2	
設置場所	屋内専用(天井面・壁面)	

●引きひもは別売(形名:TFS-806)です。
※1:使用環境により機器交換の目安および電池の寿命は短くなることがあります。
※2:自己復旧方式とは、火災の煙がなくなると自動的に火災警報を停止し、監視状態に戻る機能です。
※3:専用リチウム電池(サービス部品コード:18173009)
(東芝テクノネットワーク(株)扱い)
仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

19.音声の種類

■警報発生の場合

状態	音声
火災時(火災警報)	「ピューピューピュー、火事です。火事です。」(繰り返します。)
警報器の故障時(故障警報)	「ピッピッピッ、故障です。」 「ピッピッピッ」
電池の電圧低下時(電池切れ警報)	「ピッ、電池切れです。」 「ピッ」

■警報発生後の操作による音声

操作内容	音声
火災警報時にボタンを押す、または引きひもを引く。	「ピッ、ピッ、火災警報を停止中です。」
火災警報停止中にボタンを押す、または引きひもを引く。	「ピッ、ピッ、火災警報を停止中です。」
故障警報時にボタンを押す、または引きひもを引く。	「ピッピッピッ、故障です。」
故障警報停止中にボタンを押す、または引きひもを引く。	「ピッピッピッ、故障です。」
電池切れ警報時にボタンを押す、または引きひもを引く。	「ピッ、電池切れです。」
電池切れ警報停止中にボタンを押す、または引きひもを引く。	「ピッ、電池切れです。」

■電源をＯＮする場合

操作内容	警報音
電池のコネクタを差し込む。 (警報器の電源を投入)	「ピー、監視を始めます。」

■点検(テスト)する場合

●スピーカ音と表示灯および電池切れが確認できます。

操作内容	押し時間	警報音
ボタンを押す、または引きひもを引く。	約3秒未満	「ピー　正常です。」
	約3秒以上	「ピューピューピュー、火事です。火事です。」(繰り返します。)

20.保証について

保証について

・保証期間は、**商品お買い上げ日より１年間です。**
・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

・保証期間中は、保証書を添えてお買い上げの販売店までご持参ください。
・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関する相談は、お買い上げの販売店または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。その際は機器の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（1）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（2）お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（4）車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
（5）施工上の不備に起因する故障や不具合
（6）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
（7）日本国内以外での使用による故障及び損傷
2.離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

＜生産完了 2011年12月17日＞